

衣類循環に向けた取り組み

3【衣類の先進的なリユース、リサイクルを実施している事業者】 ■「RENU(レニュー)」プロジェクト(伊藤忠商事)

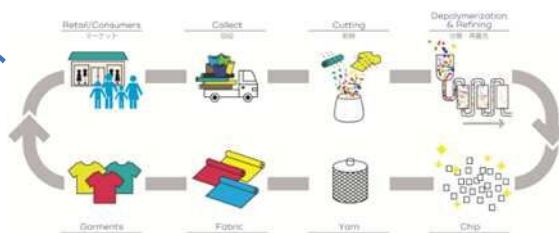


取り組み概要 及び 効果

●「RENU」プロジェクトとは？

目指すのは、**繊維から繊維へのリサイクル、廃棄しない衣類の循環。**

単にサステナブルな糸や布を販売するだけでなく、生産者から販売店、そして消費者までファッション産業にかかわる全ての人や企業が参画し循環させるのが特長。



●「RENU」とは？

RENUはケミカルリサイクルにより、廃棄された衣類や端切れなどの繊維を再び原料として蘇らせた**ポリエステル繊維(再生ポリエステル)**のこと。安定した染色性など、石油由来のポリエステルと比較してクオリティが劣らないポリエステルを生産することができる。

●効果

バージンポリエステルを生産した場合と比較して、**CO2排出量を約58.8%、水の使用量47.3%を削減。** ※工場LCAレポートによる

●2023年度からは、パートナー企業で環境商社の株式会社ECOMMIT(エコミット)とともに、廃棄される衣料品の回収と再利用・資源化にも注力し、循環の仕組みを強化した。



従来のリサイクル繊維(糸)は付着した色を完全に取り除くことが難しかったが、RENUでは従来のポリエステルと同等の発色性を備えている。

●RENUは、**スポーツメーカー、ファッションブランド**などで幅広く採用されているほか、**ファミリーマートのオリジナルアパレルブランド「コンビニエンスウェア」**のポリエステル素材としても採用されている。

伊藤忠商事株式会社
代表取締役社長COO／石井 敬太
所在地／東京都港区北青山2-5-1

RENUプロジェクト

<https://renu-project.com/>

伊藤忠では従来より、オーガニックコットンやコットン生産者のオーガニック農法への移行をサポートするプレオーガニック Cottonの販売など、環境に配慮したビジネスを展開。こうした中、2019年度に循環型経済の実現を目指し立ち上げられたのが「RENU」プロジェクト。

伊藤忠のグローバルネットワークを生かして世界中にパートナーを広げながら、ファッション産業の新しいかたちのサーキュラーエコノミー実現を目指す。